

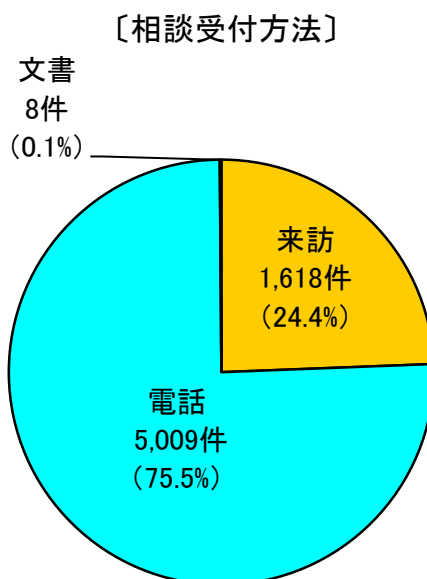
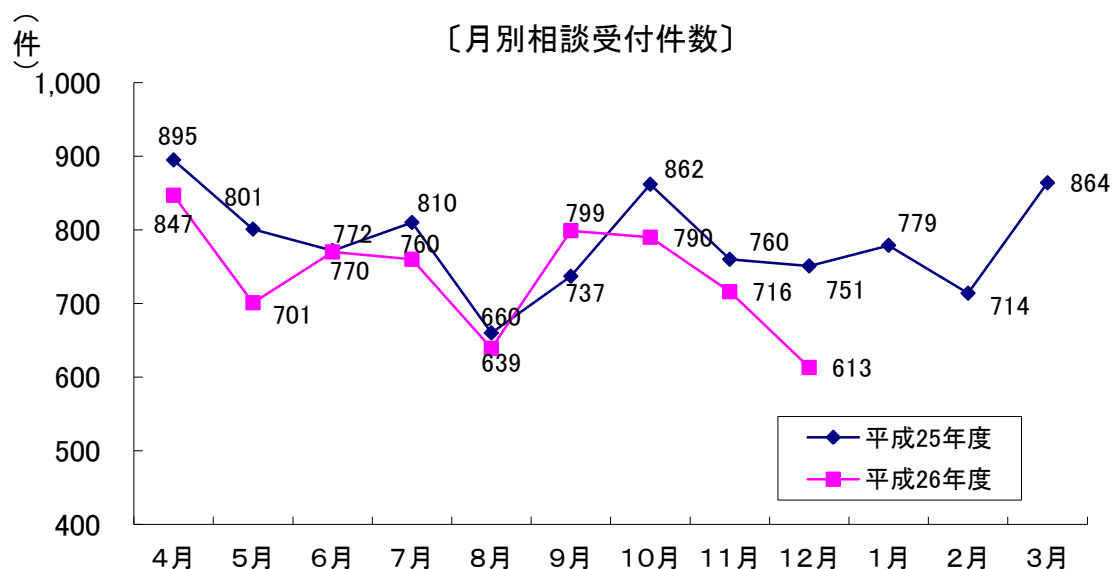
平成 26 年度青森県内の消費生活相談状況（4～12 月）

1 平成 26 年度の状況（4～12 月）

（1）相談受付状況

県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情 5,612 件、問合せ 1,023 件、合計 6,635 件であり、前年同期に比べ 413 件（▲5.9%）減少しました。（単位：件）

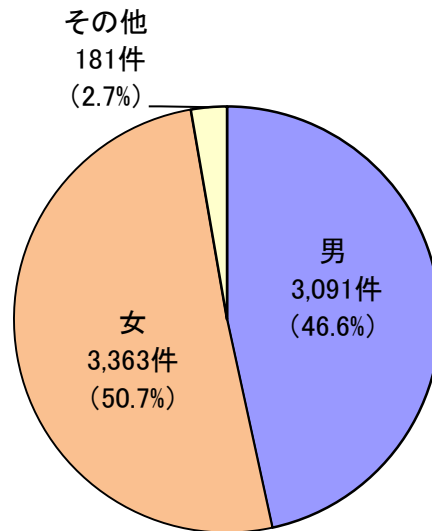
相談種別	年月	平成 26 年 4～12 月	平成 25 年 4～12 月	増 減	(参 考) 平成 2 5 年度
苦 情		5,612	5,794	▲182 (▲3.1%)	7,786
問 合 せ		1,023	1,254	▲231 (▲18.4%)	1,619
計		6,635	7,048	▲413 (▲5.9%)	9,405



(2) 契約当事者の状況

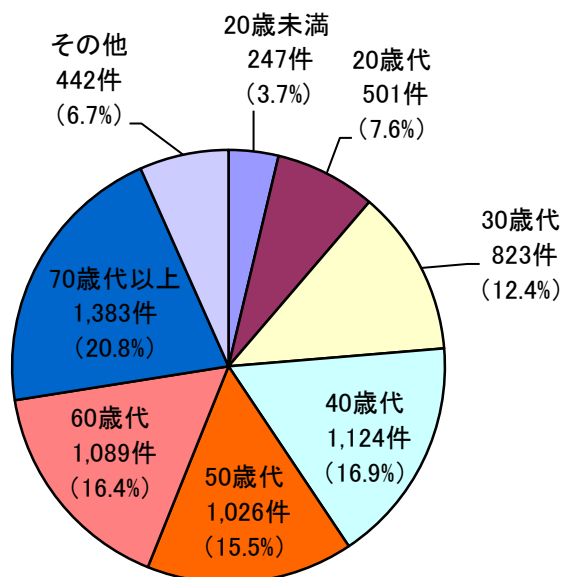
契約当事者の性別では、男性が3,091件、女性が3,363件となっています。

〔契約当事者の性別〕



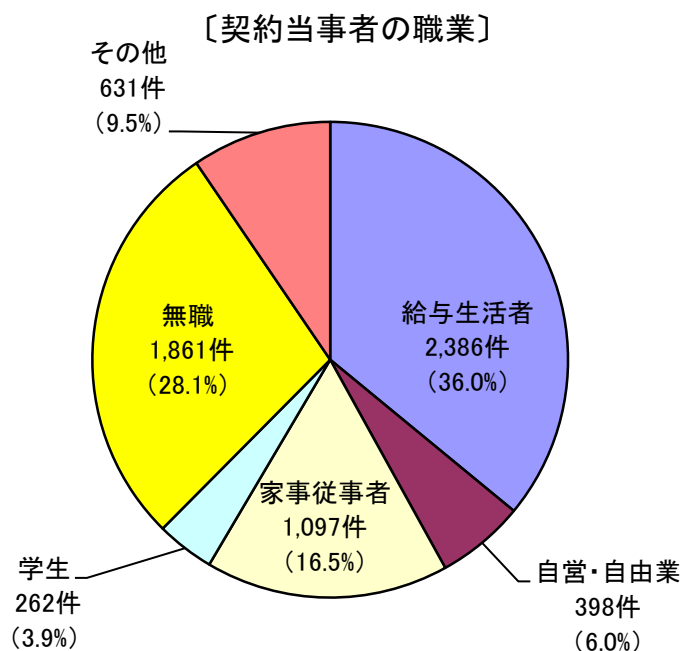
契約当事者の年代別では、70歳代以上が1,383件と最も多く、次いで40歳代1,124件、60歳代1,089件となっています。

〔契約当事者の年代〕



契約当事者の職業別では、給与生活者が2,386件で最も多く全体の36.0%を占めていま

す。次いで無職が1,861件（28.1%）となっています。



（3）商品・役務別の相談件数・内容

（単位：件）

年 月		平成 26 年	平成 25 年	増 減	（参 考）
商品・役務名		4～12 月	4～12 月		平成 25 年度
1	運輸・通信サービス	1,711	1,420	291 (20.5%)	1,950
2	金融・保険サービス	918	1,047	▲129 (▲12.3%)	1,352
3	商 品 一 般	483	413	70 (16.9%)	684
4	他 の 役 務	334	362	▲28 (▲7.7%)	483
5	教 養 娯 楽 品	324	407	▲83 (▲20.4%)	533
	そ の 他	2,865	3,399	▲534 (▲15.7%)	4,403
	計	6,635	7,048	▲413 (▲5.9%)	9,405

「運輸・通信サービス」1,711件は、前年同期1,420件と比較すると291件（20.5%）の増加となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談1,208件で前年同期1,037件と比較すると171件（16.5%）の増加となっています。

「金融・保険サービス」918件は、前年同期1,047件と比較すると129件（▲12.3%）の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談566件で、前年同期692件と比較すると126件（▲18.2%）の減少となっています。

「商品一般」483件は、前年同期413件と比較すると70件（16.9%）の増加となりました。

「他の役務」334件は、前年同期362件と比較すると28件（▲7.7%）の減少となりました。

た。最も多かった相談は、祈とうサービスなどを含む役務その他の相談 281 件で、前年同期 290 件と比較すると 9 件（▲3.1%）の減少となっています。

「教養娯楽品」324 件は、前年同期 407 件と比較すると 83 件（▲20.4%）の減少となりました。最も多かった相談はペット動物などを含む他の教養娯楽品に関する相談 69 件で、前年同期 76 件と比較すると 7 件（▲9.2%）の減少となっています。

2 平成 26 年度の特徴（4～12 月）

（1）特殊詐欺に関する相談受付状況

ア 相談受付件数

特殊詐欺に関する相談は、振り込め詐欺の相談が増加したことが要因となり、前年同期に比較すると 260 件（41.9%）の増加となりました。

（単位：件）

年 月 類 型	平成 26 年 4～12 月	平成 25 年 4～12 月	増 減
振り込め詐欺	555	312	243 (77.9%)
金融商品取引名目詐欺	265	257	8 (3.1%)
異性との交際あっせん名目詐欺	50	43	7 (16.3%)
その他の名目詐欺（宝くじ）	7	7	— (—)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	4	2	2 (100.0%)
合 計	881	621	260 (41.9%)

イ 既払金額

（ア）特殊詐欺全体

特殊詐欺に関する相談で、お金を支払ってしまった人の数は減少しているものの、支払った金額の合計や一人当たりの平均既払額が増加し、被害額が高額化していることがわかります。

（単位：千円）

	平成 26 年 4～12 月	平成 25 年 4～12 月	増 減
お金を支払った人の数	52 人	76 人	▲24 人 (▲31.6%)
既払金額合計	160,353	138,824	21,529 (15.5%)
平均既払金額	3,084	1,827	1,257 (68.8%)
最大既払額	49,000	13,700	35,300 (257.7%)

（イ）特殊詐欺名目別

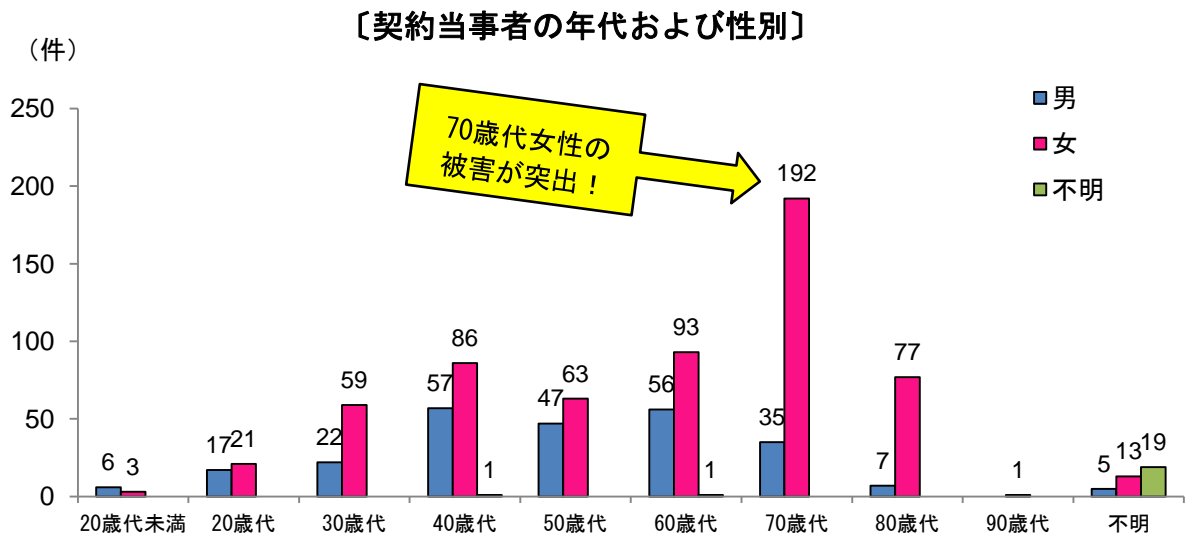
特殊詐欺の名目別に既払金額を見ると、金融商品取引名目詐欺が 143,165 千円で、平均既払金額も 7,535 千円となり圧倒的に高額な被害となっていることがわかります。

(単位：千円)

	平成 26 年 4～12 月	
	既払金額合計	平均既払金額
金融商品取引名目詐欺	143,165	7,535
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	8,460	2,820
異性との交際あっせん名目詐欺	6,083	304
振り込め詐欺	2,645	220
その他の名目詐欺（宝くじ）	0	—

ウ 契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代・性別でみると、70 歳代の女性の相談が 192 件と最も多く、次いで 60 歳代の女性の 93 件、40 歳代の女性 86 件となっています。



エ 振り込め詐欺に関する相談受付状況

オレオレ詐欺を除く振り込め詐欺に関する相談が増加しています。架空請求 520 件のうち、メールによるものが 330 件、ハガキや電話によるものが 190 件となっています。

(単位：件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
平成 26 年 4～12 月	0	520	6	29	555
平成 25 年 4～12 月	0	299	3	10	312
増 減	—	221 (73.9%)	3 (100.0%)	19 (190.0%)	243 (77.9%)

(2) インターネット接続回線に関する相談が増加

ア 相談受付状況

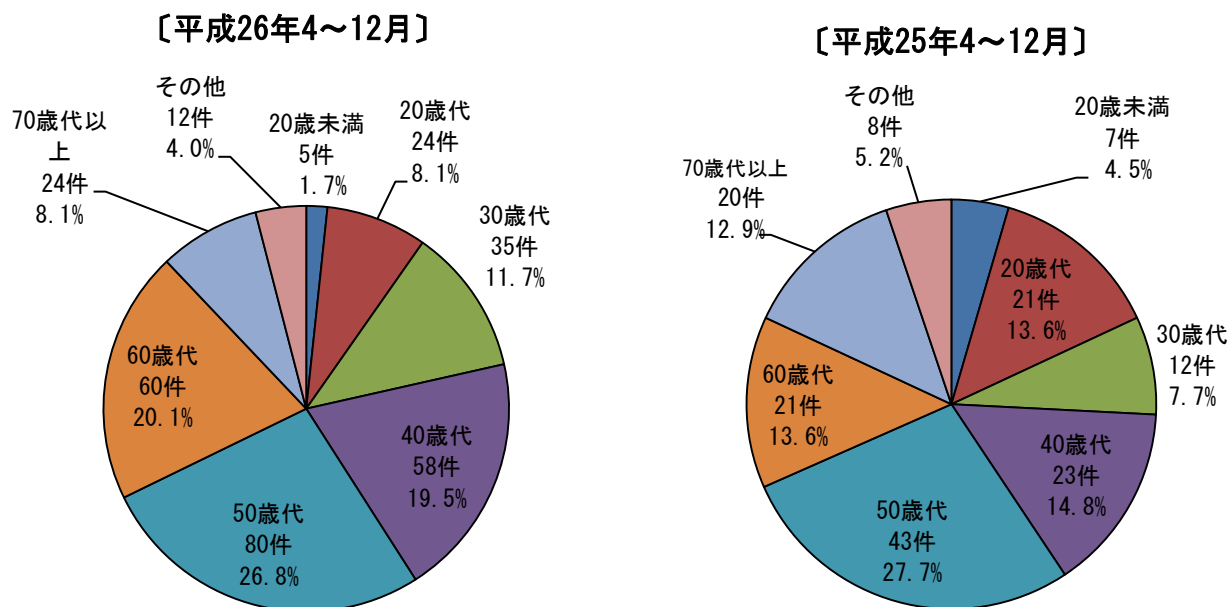
今契約しているプロバイダより安くなると言い、新たなプロバイダ契約を勧める強引な勧誘に関する相談が増加し、平成25年度1年間の相談件数を超えました。消費者の知識不足に乗じて、遠隔操作で契約変更をするなど問題のある手口が散見されます。

(単位:件)

受付年月	平成26年 4～12月	平成25年 4～12月	増減	(参考) 平成25年度
相談受付件数	298	155	143 (92.3%)	233

イ 契約当事者の年代

契約当事者の年代を前年同期と比較すると、60歳代の全体に占める割合の増加が目立ちます。



(3) 多重債務に関する相談が減少

多重債務に関する相談274件は、前年同期310件に比較すると36件(▲11.6%)の減少になりました。

(単位:件)

年月	平成26年 4～12月	平成25年 4～12月	増減	(参考) 平成25年度
多重債務	274	310	▲36(▲11.6%)	397
融資保証金詐欺	6	3	3(100.0%)	5
借金整理屋	0	3	▲3(-)	6
ヤミ金	55	62	▲7(▲11.3%)	82
ショッピング枠現金化	3	5	▲2(▲40.0%)	5

〔多重債務相談274件の借金のきっかけ〕

